
PDF Document Template, BXjs Class

1 本テンプレートの使い方

前提条件

- `tidyverse`, `knitr`, `rmarkdown` パッケージがインストールされている (**R 4.x** 推奨)
- **RStudio** (v1.4 推奨)

作成手順

1. `tinytex` パッケージをインストールする
2. `tinytex::install_tinytex()` で **tinytex** 本体をインストールする
3. `tinytex::tlmgr_install("haranoaji")` で 原の味フォントをインストールする
4. 本ドキュメントを knit する
 - YAML の `include` で指定しているファイルが必要です
 - 必要な TeX パッケージは自動的にインストールしてくれます
 - TeX のパッケージが不足しているとのメッセージが出た場合にはログを参考にインストール^{*1}してください
 - フォーマットを変更したい場合は YAML の `documentclass` を変更してください

^{*1} `tinytex::tlmgr_install("package")` を **RStudio** のコンソールから実行すればインストールできます

1.1 制限事項など

R MarkdownでPDFを作成するのは簡単ですが、日本語を含んだPDFを作成するには様々な知識が必要です。特にTeXの知識がないと日本語の表示すらまなりません。特にWindows環境は経験的に厄介ですので基本的にサポートはありません。

- **tinytex**以外のTeX/LaTeXでは手動でパッケージをインストールする必要があります
 - 他のTeX/LaTeXでの動作は確認していません
 - RStudioでのLaTeXエンジンは必ず`xelatex`を指定します
- 本テンプレートは必要最低限の設定になっています
 - TeXのデフォルト仕様として図表は自動的に再配置されます
 - 図表を固定したい場合は`setup`チャンク内の`fig.pos`オプションを試してください
- 日本語が化ける場合があります
 - 化けた場合は表現を工夫してください（回避方法不明）
- Windows環境はレンダリングに時間がかかる場合があります
- レンダリング時に`xeCJK`パッケージのワーニングが出ます
 - フォント設定を再設定しているだけなので特に問題はないかと...
 - Ubuntu環境とWindows環境で動作確認しています
- レイアウト調整をしたい場合はBXjsclsユーザーマニュアル(PDF)^{*2}を参照してください
- TeXの特殊文字（「`\TeX`」など）は使えません^{*3}
 - LaTeX数式モードは使えます

enjoy!

^{*2} <https://ctan.math.washington.edu/tex-archive/language/japanese/BX/bxjscls/bxjscls-manual.pdf>

^{*3} もしかしたらなにか指定方法があるのかも...

2 R Markdown

This is an R Markdown document. Markdown is a simple formatting syntax for authoring HTML, PDF, and MS Word documents. For more details on using R Markdown see <http://rmarkdown.rstudio.com>.

When you click the **Knit** button a document will be generated that includes both content as well as the output of any embedded R code chunks within the document. You can embed an R code chunk like this:

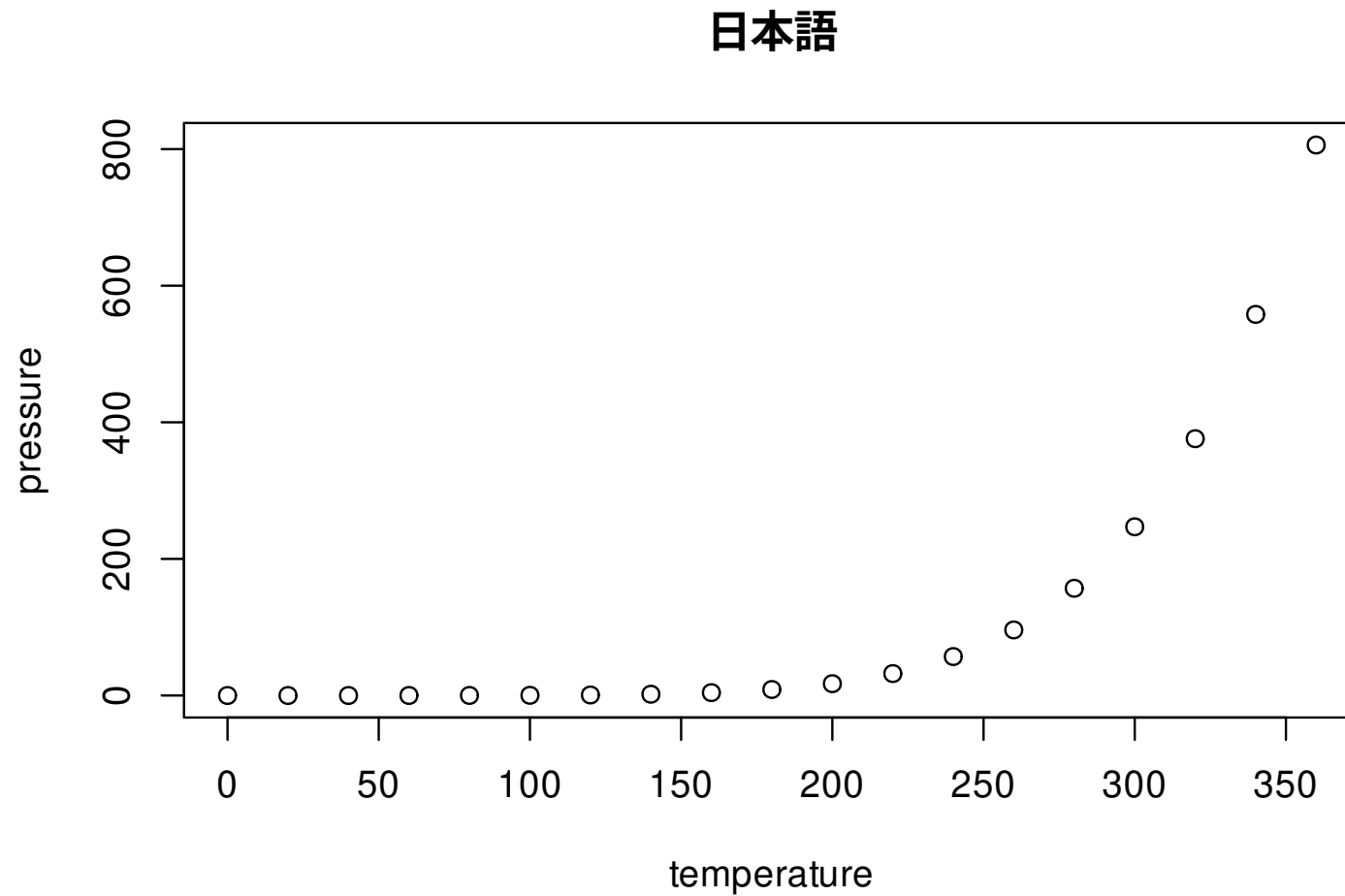
```
1 summary(cars) %>%  
2   knitr::kable(caption = "車のデータセット")
```

表1: 車のデータセット

speed	dist
Min. : 4.0	Min. : 2.00
1st Qu.:12.0	1st Qu.: 26.00
Median :15.0	Median : 36.00
Mean :15.4	Mean : 42.98
3rd Qu.:19.0	3rd Qu.: 56.00
Max. :25.0	Max. :120.00

2.1 Including Plots

You can also embed plots, for example:

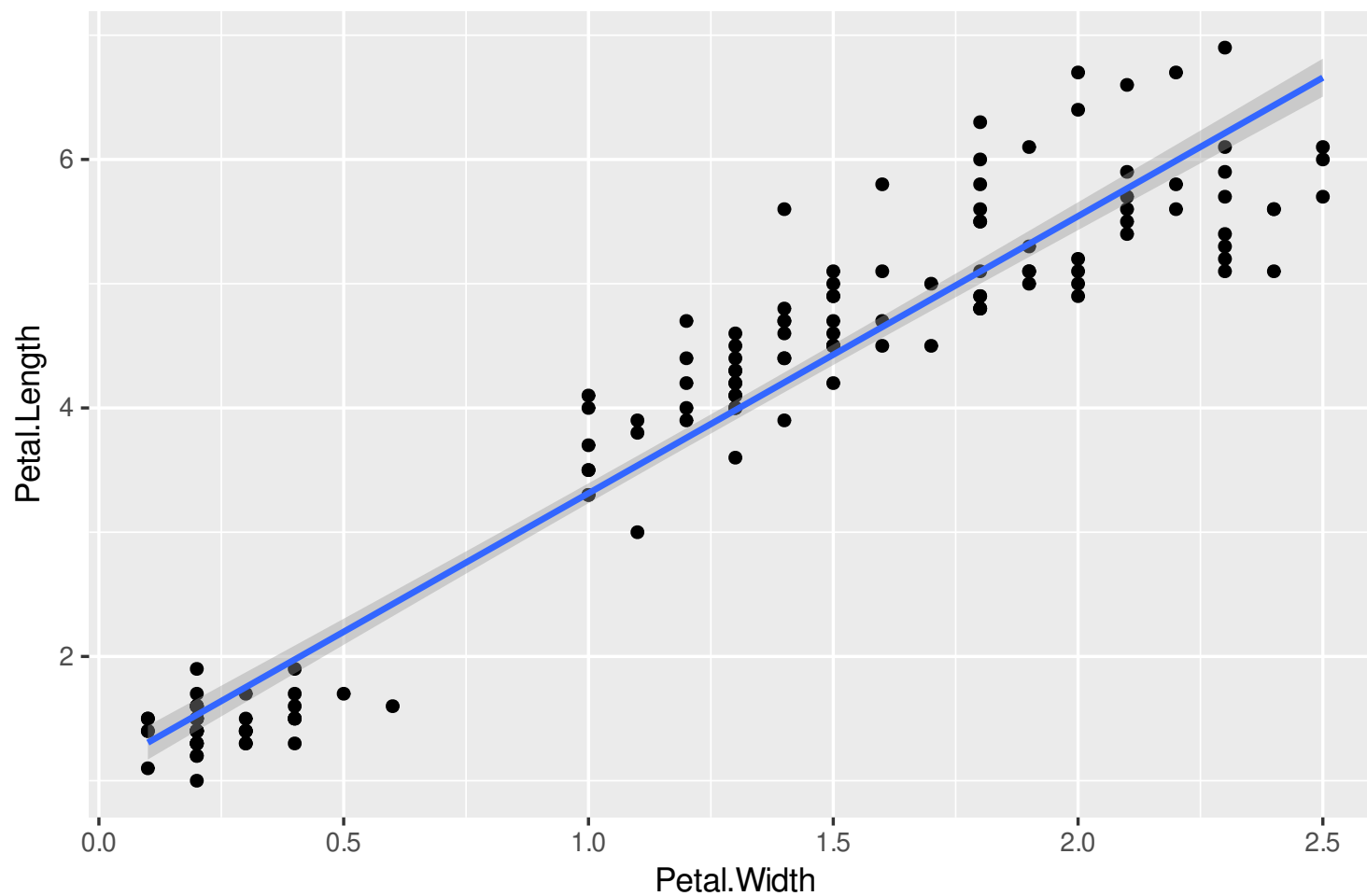


Note that the `echo = FALSE` parameter was added to the code chunk to prevent printing of the R code that generated the plot.

```

1 iris %>%
2   ggplot2::ggplot(ggplot2::aes(x = Petal.Width, y = Petal.Length)) +
3   ggplot2::geom_point() +
4   ggplot2::geom_smooth(method = "lm") +
5   ggplot2::labs(caption = "アイリスデータセット")

```



アイリスデータセット

図1: アイリスデータセット